

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:R7年3月7日

事業所名: 放課後等デイサービス 多機能型放課後等デイサービスみらいスイッチ神埼

対象人数(保護者)24人 回答者数 12人 回収 50%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
環境・体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1	
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	4	
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12		
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12		
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12		
	⑦	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	12		
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12		
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	2	
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1	
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	3	4
保護者への説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12		
	⑬	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	3	
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	5	3
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10	2	
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	2	2
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1	
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3	3
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	3	
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	2	
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	1	
非常時等の対応	㉒	個人情報 の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12		
	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2	1
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	5	
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1	
満足度	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	2	
	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	12		
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12		
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	11	1	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	みらいスイッチ神埼（放課後等デイサービス）		公表日		R7年 3月 10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		支援内容によって別室を使用する等の工夫が出来ている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4	利用児童の数に応じて人数配置を行なっている。他の事業所より応援してもらい体制がある。	定員制限いっぱいの受け入れ時は対応が難しいと感じる場合があるので増やしてほしい。見守り不足を感じる事がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	目的に応じて部屋を変える事ができている。	一部で段差がある。現状では問題なし。駐車場が段差あり、前面道路で少し不安あり。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	毎日。清掃と消毒を心掛けて実施している。	運動を行なう場所としては手狭に感じる。もう少し広くなれば良いと感じる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	申し出があれば居室の使用を許可する対応を行なっている。	個別に居室は無い。空いている部屋を使用する等の対応を子なっているが、クールダウンしたり体調不良の場合の部屋を用意する
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	保護者向けアンケートを取っている	事業所評価を受けて意見を本に改善をしていくべき所を検討する事が必要。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		定例会議とミーティングの実施を行なっている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	保護者からの意見等を元に業務の工夫や対応を日々心掛けて業務の改善に努めている。	外部評価が行なわれているか知らない、行なわれているのであれば知りたい、行なわれていなければ今後実施していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		全職員対象に毎月色々な研修会を実施している事と外部の研修会にも参加出来る体制がある。	
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		基本的な療育方針があり、事業所でも支援方法を整えており、個別支援計画を行なっている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1	アセスメント・モニタリングを繰り返しながら適切な支援について意見を交わしながら計画作成を行なっている。	計画の確認を行なう。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		スタッフ間ミーティングや会議で関わるスタッフの意見を聞きながら児童の課題について計画に反映する事が出来ている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	計画書を個人ごとにファイリングしていつでも確認出来るようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	標準化したアセスメントを取り記録している。	標準化したアセスメントシートの利用が出来ていないスタッフもいるので周知する。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		変更された支援計画書の作成が出来ている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		定期的に会議などで話し合いが出来ている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		定期的に会議などで話し合いが出来ており、新たなプログラムの導入を図っている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		児童の特性や課題を把握し個別の対応や集団活動を組み入れて支援を行っている。 専門的支援を含む	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日のミーティングで確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		毎日、当日の振り返りや反省がミーティングで実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	HUG記録を残し保護者・家族へ報告を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	2	最低、半年に1回モニタリング実施し支援内容の反省、新たな課題などの抽出を行っている。	モニタリング会議に参加できない事もあるので、意見をまとめて伝える等を工夫する。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1		4つの基本活動を把握できていないので認知していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		本人の意見を取り入れながら工夫し対応している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児発管とスタッフが参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	体制は出来ている	体制は出来ているが、実際に連携する事は殆どないので、連携を増やしていく事が必要。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	学校からの情報提供もあり把握できている。送迎時に話を行なう事ができている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	必要な情報をアセスメントとして確認したり相互理解に努めている。	一部情報不足な事もあるので、再確認など行なうようにしていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	情報共有体制ができている	情報共有体制はあるが、まだ、卒業する児童が出ていない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4	いつでも連携できる準備は行なえている。	児童発達支援センターとの連携は確認できていないので必要であれば行なうようにする。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		地域の方との交流など取り入れた活動を検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		必要があれば参加を検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	送迎時や連絡等で行なっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		家族参加の研修会などを提供できるように準備を検討する。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	契約時や面談に際に行なっている。質問があれば対応している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	担当者会議等の場を準備していたり、相談を埋める等の対応を行なっている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	1	個別支援計画と活動などを含めて支援状況の説明を行なっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		相談を受けた場合には適切にアドバイスなど行なえている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	5		父母の会などの組織が出来ていない、時に保護者が集える場を提供するようにしていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情を受け付ける体制があり、対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月、保護者・家族にお便りを提出している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		研修会や日々の業務の中でも取り扱いについて周知している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		合理的配慮に努めている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		これまで地域の住民を招き入れた活動の実施など行なえていない、必要であれば計画していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3	事業所内に各マニュアルがあり、想定した訓練を実施している。	マニュアルはあるが、保護者等への周知できていない部分を周知していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2	災害発生時の対応の訓練、計画を実施している。	訓練に参加できていない児童もいるので複数回の訓練を行えるようにしていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	アセスメントを取り把握している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	アセスメントの中でアレルギーの確認を行ない周知している。	アレルギーについて把握している。医師の指示を受けるような問題は起きていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	安全対策に注意しながら必要な訓練と支援を実施している。	まだまだ不十分な事もあるので、随時対策を取り入れていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	安全対策に注意しながら必要な訓練と支援を実施し家族への説明を行なっている。	まだまだ不十分な事もあるので、随時対策を取り入れていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		随時ヒヤリハット発生時の情報共有を行ない対策の検討をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的な研修会と事業所内でのスーパーバイズを行なえている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		マニュアルを整えており準備している。実際、拘束する場面はなし。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいスイッチ神埼（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 16日		～ R6年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	R6年 12月 16日		～ R6年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援の終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行なわれた支援の振り返りを行ない、気付いた点等を共有している事。	毎日の支援の終了後、直ぐに良い事も悪い事も意見を出し合い反省する事に努めていて、児童の様子に気を付けて対応している。	今後も反省を活かして、次の支援の際に振り返った事を実践し再度の振り返りを行っていく。
2	定期的に通信等を発行する事や、HP,SNS等を活用する事により。活動概要や行事予定、連絡体制などの情報を子供や保護者に対して発信している事。	日々の支援内容の提供時の様子を各家庭に向けてお知らせしている（HUG）また、定期的なお知らせ以外にも緊急時の連絡、及びSNS等で様々なお知らせ、活動の報告を行なっている。	今後も保護者の希望する情報発信、SNSを含め色々な情報等を提供していく。
3	活動プログラムが固定化しないように工夫している事。	同じ内容の活動であった場合でも、課題の内容を変えてみたり、難易度を変化させていたりしている。また、同じ活動でも企画者を変える等をしているので、活動の内容としては固定した内容にならないようにしている。 また、季節に応じた活動を取り入れたり変化を取り入れたり工夫している。	今後も色々な皆さんの活動プログラムを企画していけるように情報を得ながら動画などを参考にしたりして楽しめる企画を考えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供を行っていない事。	家族の困り事に対して、話を聞き相談を受ける事は出来ていると思われるが、専門的な知識での適切なアドバイスが出来ていない事もある。 色々な経験などがありベテランのスタッフもいるが十分であるとは言えない。	スタッフを含めて事業所での外部講師を招いたりしながら研修会（家族参加）を取り入れる等の工夫を行なっていく事が必要と思われる。
2	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っていない事。	これまで、事業所内で支援を行ったり、活動を行なう事を重視していた。地域の住民などを招待する等の意識が無く企画も出来ていなかった。	事業所としてどのような運営を行なっているのか、地域の住民を招待する等に関して会社として基本的な検討を進め予算や人員配置などの準備を行なう事が必要と感じている。
3	父母の会の活動を支援する事や保護者会などを開催する等により保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をおこなっているかと言う事。	これまで、父母会というものが存在していなかった事もあり、意識して保護者会を開くなどを計画したり実施することが出来ていなかった。	保護者会を開くと言う事でなくても事業所で保護者が交流する機会が持てるように企画などで工夫していく事が必要と感じる。